

2015年4月1日～2020年3月31日の間に 当院歯科においてパノラマエックス線画像検査を受けられた方へ —「Lobodontiaのエックス線画像的特徴の解析」へご協力をお願い—

研究機関名 岡山大学病院
研究機関長 金澤右

研究責任者 岡山大学病院 歯科放射線・口腔診断科 助教 岡田俊輔
研究分担者 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 歯科放射線学分野 教授 浅海淳一

1. 研究の概要

1) 研究の背景および目的

Lobodontiaは、直訳すると「狼の歯」を意味し、多数の歯に形態異常を認めるまれな疾患です。発生頻度は低く、症状も少なく命に関わらないことから研究が十分に進んでいません。本調査は、岡山大学病院歯科にて撮影されたパノラマエックス線画像検査から、多数の歯に形態異常を認める患者さんを対象とし、その画像検査等から得られる特徴的所見を検討することを目的として行われます。

2) 予想される医学上の貢献及び研究の意義

研究成果により、将来の口腔領域の画像診断の進歩に貢献できる可能性があります。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2015年4月1日～2020年3月31日の間に岡山大学病院歯科においてパノラマエックス線画像検査を受けられた方で、画像上で多数歯にわたる形態異常を認める患者さん3名を研究対象とします。

2) 研究期間

倫理委員会承認後～2021年3月31日

3) 研究方法

2015年4月1日～2020年3月31日の間に当院歯科においてパノラマエックス線画像検査を受けられた方で、画像上で多数歯にわたる形態異常を認める患者さんについて、研究者が診療情報をもとに画像検査等のデータを選び、特徴的な所見について調べます。

4) 使用する情報

この研究に使用する情報として、カルテから以下の情報を抽出し使用させていただきますが、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し使用します。また、あなたの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

- ・ 年齢、性別、診断名、家族歴、既往歴
- ・ 診察所見、パノラマエックス線画像検査などの画像検査データ

5) 情報の保存、二次利用

この研究に使用した情報は、研究の中止または研究終了後5年間、岡山大学歯学部歯科放射線学分野助教

授・講師室内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。

6) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、2020年9月30日までの間に下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様にご不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

岡山大学病院 歯科放射線・口腔診断科

氏名：岡田 俊輔

電話：086-235-6706（平日：9時00分～17時00分）

ファックス：086-235-6709